

語って 使おう しまくとうば

ふぁーてい ちかーや しまふうとうば

うにきむにー (辺野喜ことば)

🔊 スピーカーをクリックすると、
音声流れます。



本書を利用するにあたって

本書『**ふぁーてい** **ちかーや** **しまふうとうば**』は、辺野喜出身の話者、山城榮さん、金城茂さんを中心に、東恩納寛さん、山城光政さんの協力を得て作成しました。

「しまくとうば」の表記は、カタカナやローマ字、音声おんせい記号きごうで表すなど、いろいろな方法があります。本書では、県民の皆様が日ごろから親しんでいる平仮名を用いています。

しかし、「しまくとうば」で言い表すことが難しく、共通語をそのまま使っていることばに関しては、漢字やカタカナを用いて表記している箇所もあります。

また、「しまくとうば」には、一つのひらがなやカタカナでは書き表すことのできない音があります。それを表すために、特別な表記を使っている語もあります。

この本を読む前に、右頁にある「特別な表記について」の説明を読んで、ご理解くださいますようお願い致します。

特別な表記について

本書を利用する際、「**っわ**」や「**いえ**」など、日ごろ目にする事のない表記があることに気がつくと思います。これらの表記について、ここで説明します。

①のど咽喉に力を入れて発音する音（せいもんへいさおん声門閉鎖音）

発音の出だしに、のど咽喉に力を入れて発する音を声門閉鎖音といいます。この音は日本語の共通語には普通みられない音なので、かな文字がありません。ですから、かな文字を2字組み合わせ、左上に小さな「**っ**」を添えて書き表しました。例えば、辺野喜ことばの「**っわーちき**」（天気）のように、通常の「**わー**」を、のどに力を入れて発する音を「**っわー**」と表しています。この音はなかなか発音しづらいのですが、「う」と「わ」を区切って発音し、それを次第にちぢめていくと似た音を発音できるようになるでしょう。

②やわらかい発音ではじまる音がある（ゆるやかな声立て）

①の「のどに力を入れて発音する音」とは真逆のような音で、出だしに全く力を入れずに発音するのが、この音の特徴です。本書では、この音を表すために左上に小さな「**い**」や「**う**」を添えて「**いえ**」や「**うう**」で表記することにしました。

この音の特徴は、通常の1音の長さより、ほんの少しだけ長め（1.2～1.3倍ぐらい）の音であることです。

また、「**い**」のときには唇を平たくしてあまり開けずに、「**う**」のときには唇を丸めて少し突き出すようにすると上手に発音できるようになります。

③伸ばす音は「ー」で！

母音が伸びるとき、音を区切って発音することはありません。例えば「獅子」を意味する「**しーさー**」は、通常の発音では「し」「い」「さ」「あ」と区切って発音することはありません。「**しー**」と「**さー**」は区切ることができますが、「**しー**」は区切ることができないため、本書では「**しー**」と表記することにします。

④半角スペースについて

「だ」「です」にあたる「**いえん**」「**いえんろー**」、「する」にあたる「**すん**」（ただし、複合動詞のみ）が、前の要素に付く場合には、見やすさを考慮して、半角分のスペースを空けました。

⑤うにきふうとうば（辺野喜ことば）の特徴について

辺野喜ことばの特徴はいくつかありますが、ひとつは他の地域で「ダ行」となる音が、「ラ行」で発音されることにあります。例えば「**〜どー**」を「**〜ろー**」と発音したり、「**なだ**（涙）」を「**なら**」と発音したりします。しかし最近では、他の地域のしまくとうばの影響を受けて「ダ行」で発音することも増えてきました。

共通語のハ行が「ファ行」で発音されるのも特徴のひとつです。他の地域で「**はる**（畑）」や「**はな**（鼻）」と発音される語が、辺野喜では「**ふある**」「**ふあな**」の音となり、「**髭**」や「**額**」も「**ふいぎ**」「**ふいてー**」となります。また、「**ちゅー**（今日）」が「**すー**」となり、「**ちゅらさん**（美しい）」が「**すらはん**」と、「**ちゅ**」が「**す**」になる言葉なども多く見られます。

その他にも、辺野喜ことばには「ふ」の音が2種類あらわれるという特徴があります。通常使われている口をすぼめて発する「**ふ**」の音とは別に、「ほ」に近い「**ふ**」の音があります。本書では、この「ふ」の音を「**ふう**」と表記しています。この音で発する語には、「**ふうとうば**（ことば）」、「**ふうみ**（米）」、「**ふうま**（ここ）」などがあり、通常の「ふ」の音で発する語には、「**ふし**（星）」、「**ふす**（へそ）」などがあります。音声を聞いた上で、その違いを確かめて下さい。

1, 挨拶ことば……………8

- ◆朝起きたとき (8)
- ◆ごはんを食べるとき (9)
- ◆出かけるとき (10)
- ◆外で友人に出会ったとき (10)
- ◆ (午後の時間帯で) 外で知人に出会ったとき (11)
- ◆職場から帰るときの挨拶 (12)
- ◆夕方・夜の挨拶 (13)
- ◆二回目以降のときの挨拶 (14)
- ◆その他の挨拶ことば (15)
- ◆大晦日・正月の挨拶 (17)



2, 自己紹介……………18

- ◆自己紹介 (18)
- ◆家族を紹介します (19)



3, 身体用語……………20

- ◆身体を表すことば (20)
- ◆身体に関連することば (22)



4, お祝いや行事で使えるしまくとぅば……………24

- ◆お祝いのことば (24)
- ◆行事の際に使うことば (25)

5, 拝みのときに使うしまくとぅば……………28

- ◆祈願することば (28)
- ◆まじないことば (29)

6, 病院での会話……………30

- ◆診察のときの受け答え 1 (30)
- ◆診察のときの受け答え 2 (32)



7, その他……………34

- ◆食事のときに使うことば (34)
- ◆食味をあらわすことば (35)
- ◆問いかけのことば (35)



8, タクシー運転手との会話……………38

- ◆辺野喜でタクシーに乗る (38)

9, 地域の特徴……………40

- ◆沖縄県の様子 (40)
- ◆国頭村 (42)
- ◆観光案内 (43)
- ・辺野喜川
- ・辺野喜ダム
- ・辺野喜節





1, 日常的な挨拶

挨拶ことば (えーさてい ふうとうば)



◆朝起きたとき

・お目覚めですか？ (起きましたか?)

うふいんそーていな?

・起きた?

うふいたんろー!

うふいていな?

・起きたよ (起きているよ)。

うふいたんろー (うふいとーんろー)。

・早く起きてください。朝ですよ。(目上の人に対して)

はくなー うふいんそーいば。ひていみてい などー
んろー。

※ひていみてい=朝

・早く起きなさい。朝だよ。(子どもや目下の人に対して)

はくなー うふいーば。ひていみてい などーんろー。

・朝ごはんは召し上がりましたか？ (目上の人に対して)

あっしー いんかぎんそーていな?

・朝ごはんは食べたの？ (食べた?) (子どもや目下に対して)

あっしー かりな?

※沖縄には共通語にあるような「おはようございます」や「おはよう」にあたる挨拶言葉はありません。「こんにちは」や「こんばんは」も同じです。



・朝ごはんを召し上がれ (食べなさい)。

あっしー かみんそーいば (かめー)。

◆ごはんを食べるとき

いんかぎんそーいば。

・お召しあがりください。

いんかぎんそーいば。

・いっしょに食べよう。

まんなー かま。

・いっしょに食べませんか (食べない)。

まんなー かみんそーやんな (かまんな)。

・いっしょに食べよう。無くなるよ。

まんなー かま。ねーん ないんろー。

・いただきます。(目上の人に対して)

くわっちー さびーんろー。

・ごちそうさま (いただきましたよ・美味しかったよ)。

くわっちー さんろー (まーはーたんろー)。

・大変美味しかった (美味しかったよ)。

しかつとう まーはーたん (まーはーたっさー)。

・こんなに美味しかったね。

あんし まーはーたる。

・お菓子を食べなさい。おいしいよ。

くわーし かめー。まーはんろー。





◆出かけるとき

- ・行ってきます (行こうね)。(目上・目下の区別なく使う)

いるーひー。

- ・貴方はどちらへ行くのですか？ (目上や先輩に対して)

なーみ らーがてい もーいが？

- ・あなたはどこに行くの？ (目下や同年に)

うら らーがていが？



※なーみ = 貴方・先輩 なんなー = 貴方方・先輩方

※うら = あなた・君 うりー = あなた達・君達

- ・どこに行くの？ (身近な人に対しての問いかけ)

らーがていが？ (らーにが？)

- ・気をつけて行ってらっしゃい。(目上の人に対して)

きー ちきてい もーいよーやー。

- ・気をつけて行きなさい。(同年や目下の人に対して)

きー ちきてい いきろー。

- ・気をつけて (行きなさい)。

きー ちきーよー。

きー ちきーよー！



◆外で友人に出会ったとき

- ・きょうは、良い天気だね。

すーや、いいー っわーちきやー。

※すー = きょう きぬー = 昨日 あたー = 明日



- ・きょうは早起きだね。

すーや ふえーぶいそーる。

- ・きょうはどちらの用事へ行きましたか？ (目上の人に)

すーや らーぬ ゆーず もーたが？

- ・どこへ行ったの？ (同年や目下の人に対して)

らーがてい いらが？

- ・畑にでも行ったのですか？ (目上の人に)

ふるかい もーたんな？

- ・畑にでも行ったの？ (同年や目下に)

ふるがている いらりー？



- ・(よく) がんばってるね。(同年や目下に対する挨拶として)

ゆー きばとーっさーやー。

- ・(とっても) がんばっていますね。(目上への挨拶として)

あんし きばとーいそーいる。

◆(午後の時間帯) 外で知人に出会ったとき

- ・「こんにちは」に代わる挨拶言葉。

らーかい もーいが？ (どちらへ行くのですか？)

らー もーたが？ (どちらへ行きましたか？)

※外で出会った際には、「こんにちは」の代わりに「どちらに行くのですか？」とか、「どちらへ行きましたか？」等、簡易な問いかけを挨拶言葉として使います。



◆仕事場から帰るときの挨拶

- ・気をつけてお帰りくださいね。(目上に対して)

きー ちきてい けーんそーいよー。

- ・気をつけて帰ってね。(同年や目下に対して)

きー ちきてい けーいよー (けーいばや)。

きー ちきーよー。(「気をつけてね。」親しい人に使う)

- ・はい、また明日ですね。

おー、また あたーえっさーやー。(目上の人に)

いー、あたーやー。(同年や目下に対して)



※返事の内容は、目上に対しては「おー」。同年代や目下に対しては、「いー」が使われます。

- ・さあ、一緒に帰りましょう。(目上の人に対して)

りか、まんなー けーんそーやんな。

- ・さあ、一緒に帰ろう。(同年や目下の人に対して)

りか、まんなー けーや。

- ・さあ、一緒に飲みましょう(疲れを癒しましょう)。

りかし、まんなー だりやみ しんそーやんな。

りかし、まんなー うたいのーし しんそーやんな。

※だりやみ=酒飲み、酒宴

- ・一緒に疲れを癒そうよ(酒を飲もうよ)。

まんなー うたいのーし (だりやみ) さやー。



- ・きょうは疲れたので、酒でも一緒に飲もう。

すーや うたてい、だりやみんれー まんなー さやー。

- ・はい、そうですね。酒を飲みましょう。(目上の人に対して)

おー、あいえっさーやー。だりやみ しんそーやんな。

- ・そうだね。

あいえっさーやー。

- ・夕飯を食べてからいらっしやい。(時間帯の約束)

ゆーばん いんかぎていかー もーいよー。

- ・夕飯を食べてから来てね。(同年や目下に対して)

ゆーばん かりかー もーいよー。

- ・ちょっと休んでからいらっしやい。

ゆふーていかー もーいよー。

- ・夕飯は、(私の)家で召し上がってください。

ゆーばんや、やーのーてい いんかぎんそーいよー。

◆夕方・夜の挨拶

- ・ただいま(今、帰ったよ)。

なんまる、けーたんろー。

- ・今お帰りですか? お疲れでしょう。(夫や目上に対して)

なんまる けーん そーいていな? うたとーんて。

- ・今帰ったの?(同年や目下に対して)

なんまる けいりー? (けーたりー?)

けーたんろー





- ・おやすみなさい。（「寝ようね」=寝る人の言葉）

にんばひー（にんばやー）。

- ・寝る人へ返す言葉

はくなー にんびんそーいば。（「早く寝てください。」）

はくなー にんべー。（「早く寝なさい。」）

にんびんそーいよー。（「寝てくださいね。」）

ゆふういんそーいば。（「おやすみください。」）

- ・早く寝なさい、明日は早いよ。

はくなー にんべー、あたー ふえーはんろー。

◆二回目以降のときの挨拶

- ・元気でしたか？（目上の人に対して）

がんじゅゝえーんそーいていな？

- ・お元気でしたか？（より丁寧な言い方）

がんじゅーし もーていな？

- ・お久しぶりですね。（目上の人に対して）

あんし みーずはーんそーいる。

- ・久しぶりだね。（同年や目下の人に対して）

みーずーはーる。

みーずーはーる！

- ・久しぶりですね。お元気でしたか？（目上の人に対して）

みーずーはーる。がんじゅーし もーいていな？（が

んじゅーそーていな？）



- ・きょうも暑いですね。

すーん あちはぬやー。

- ・貴方（先輩）も暑くないですか？（目上に対して返す言葉）

なーみん あちはーんそーいんな？

- ・そうだね、毎日暑いね。

あんすぐとうやー、めーにち あちはぬやー。

- ・そうだね、最近はずいぶん暑いね。

あちはぬ！

あんすぐとうやー、ちかぐる あちはぬやー。

- ・きょうも寒いね。

すーん ふいーはぬやー。

- ・貴方（先輩）も寒くないですか？（目上の人に対して）

なーみん ふいーはんそーいんな？

- ・寒くなってきたね（なっているね）。

ふいーく なていやー。

ふいーはん！

- ・あなたは、風邪もひかなかっただろうな？

うら、ふあなしきん かはやん なーたらや？

◆その他の挨拶ことば

- ・ありがとうございます（ありがとう）。

にふえーゝえーんそーいんろー（にふえーやー）。

- ・ありがとうございました。

にふえーゝえーんそーいたんろー。





・ごめんない (悪かった)。

わっさーたん。

・ごめんなさい (私が悪かった)。

わんが わっさーたん。

・ごめんください。

へーい。

へーいさい。(丁寧な言い方)

・どなたかいらっしゃいますか？

さんがな もーいんな？

・いらっしゃいませ。ここへどうぞ。

もーいんそーいば。ふうまがてい いーば。

・いらっしゃいましたか？(どうぞ)お上がりください。

もーていなー？ いーんそーいばし。

・ここへいらしてください。(目上の人に対して)

ふうまがてい もーいんそーいば。

・ここへおいで。(同年や目下の人に対して)

ふうまがてい ふば。

・先生がいらっしゃる。

へーいさい！

先生がる もーいばんな。

・先生がいらっしゃるの？

先生がる もーいんりな？

わっさーたん。



・いらっしゃいませ。お茶を召し上がってください。

もーいんそーいば。ちゃー いんかぎんそーいば。

◆大晦日・正月の挨拶

・きょうは大晦日だよ。

すーや すしんゆる いえーんろーやー。

・大晦日だよ。年越し料理を供えますので受け取ってください。

すしんゆるろー。すしすいむん うさぎやびーぐとう
うきすてい くいんそーいろー。

・明日は正月です。

あたーや そーぐわち いえーんろーやー。

・良い年を迎えて、良い正月ですね。

いー とうし むけーてい、いーそーぐわち いえ
さーやー。

・良いお正月ですね。

いー そーぐわち いえんろーやー。

・ご先祖様、若水を浴びますので健康にさせてください。

ふあーふじがなしー、わはみじ はみとーぐとう け
んこー しみんそーいろー。

・若水汲み。(正月に井泉の水を汲んで健康祈願を行う)

わはみじ くるーば。



2, 自己紹介



◆自己紹介

- ・私の名前は山城だよ。

わんぬ なーや やましろろー。



※「わんぬ なーや やましろりり いやびーん」(私の名前は山城と言います)の言い方もあるそうですが、辺野喜ではかしまった挨拶はあまり使わないとのこと。

- ・私は太郎というよ。仕事は役場に(勤めて)いるよ。

わんや たろーんり いーんろー。しぐとや 役場に ふいんろー。

- ・私は国頭村辺野喜の生まれだよ。

わんや くんじゃん うにきぬ うまりろー。

- ・私は、野球を見るのがとっても好きだよ(野球観戦が趣味だよ)。

わんや、やきゅー みーしが しかつとや すき やんろー。

- ・相撲を見るのが、楽しみだね。

しますえー みーしが、たのしみ やっさー。

- ・さあ、一緒に相撲をとろう(さあ、相撲をとろう)。

りか、まんない しま すや。

りか、しま すや。



◆家族を紹介します

- ・私の家族を紹介しようね。祖父の一郎、祖母の富子、父の次郎、母の直美、妹の一枝だよ。家族は皆で6人だよ。

わんなー やーんとう しょうかい さやー。うんめーぬ いちろー、ふあーふあーぬ とみこ、たーたーぬ じろー、あんまーぬ なおみ、うつとやぬ かずえ やんろー。やーんとうや むるし ろくにん やんろー。



祖父(うんめー・たんめー・おじー)



祖母(ふあーふあー・おばー)



父(たーたー・おとー)



母(あんまー・おかー)



私(わん・るー)



妹(うつとや・うなぐうつとや)

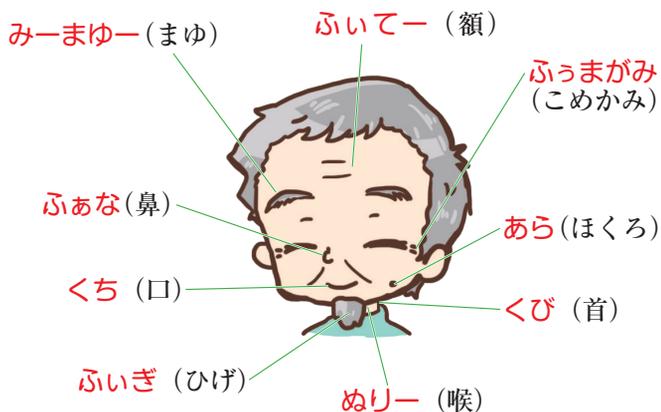
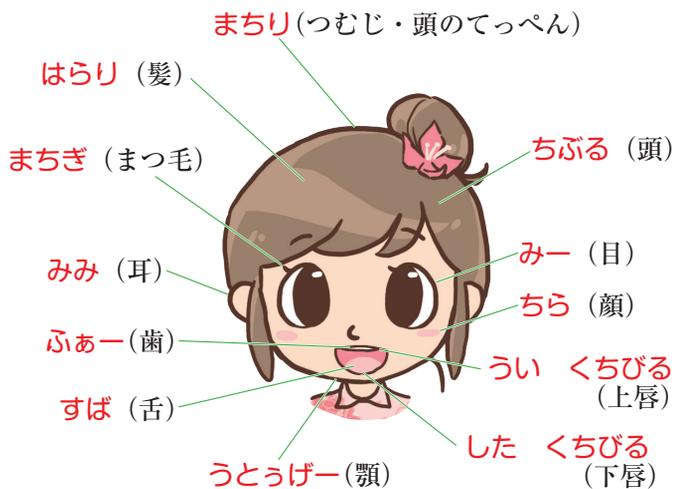
姉(あながー) 兄(あんみー) 兄弟・姉妹(そーれー)
 男の兄弟(うんが そーれー) 女の姉妹(うなぐ そーれー)
 弟(うつとや・うんがうつとや) 年上(しらはた)
 年下(うつとや) 男(うんが) 女(うなぐ) 赤ちゃん(あはぐわー)
 孫(まが) 従兄弟(いちく) 甥・姪(みーつくわ)
 親より年上の伯父(うんつー) 親より年下の叔父(うんつーぐわー)
 親より年上の伯母(うんまー) 親より年下の叔母(うんまーぐわー)

3, 身体用語



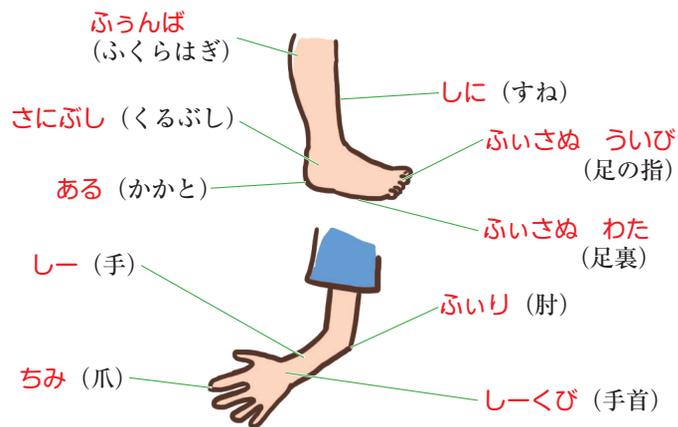
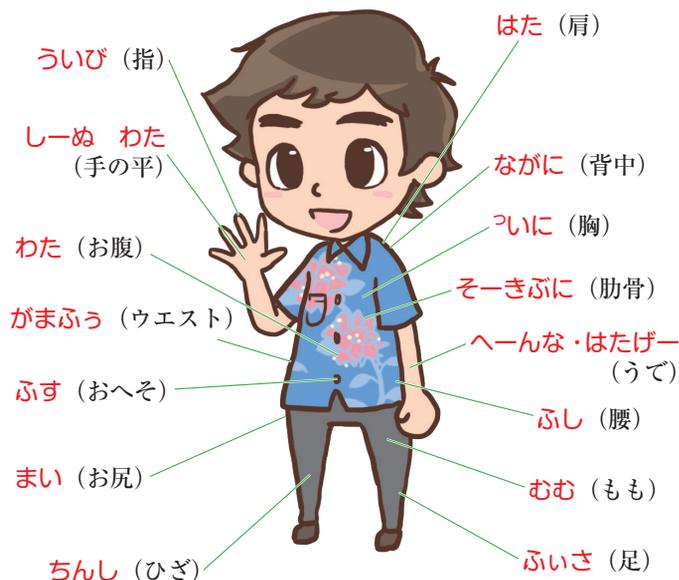
◆身体を表すことば (るー あらわす ふうとぅば)

～頭から足先までのうにきむにー～



ふいがい (左)

みぎ (右)





◆身体に関連することば

いき (息)

あし (汗)

いき ふかーてい (息を切らせる) あし ふあやー (汗かき)



なら・みーなら (涙) みーならぐる (涙もろい)
みーならぐる まーとーん (今にも涙が落ちようとする様子)



とぅんふえー (唾)
はすがい・はすげー (痰)
にき すん (いびきをかく)

さっくび (しゃっくり)
さっくい・さふい (咳)



くえーたー・ぶつとー

(太っている人)

よーがらー・よーがりむん

(やせている人)



くさみくん (怒る・怒っている)

くさみやー (怒りんぼ)



さーふーふー (ほろ酔い) ういっとう (酔っ払い)

ういるん (酔っ払う)

ういーている ふいりー? (酔っ払っているのか?)

ちゅーばー (力の強い人) ぐてーまぎー (体の大きい人)

きむ やふあらはーん (優しい・優しい人)

うとぅるはーん (怖い)

4, お祝いや行事等で使えるしまくとぅば



乾杯、結婚式、祝賀会等の祝福、お悔やみ

◆お祝いのことば

- ・きょうは結婚式の案内があったよ。お祝いだってね。
すーや にーびきぬ えーじ あいたんろー。ゆー
えー ーえんりやー。
- ・きょうはお祝いをするので、いらしてくださいね。
すーや ゆーえー すぐとぅ、もーいんそーいよー。
- ・きょうは、こちらでお酒を呑んでください。
すーや、ふうまのーてい だりやみ しんそーいよー。
- ・きょうは結婚式の案内があったの？
すーや にーびきぬ えーじ あいていな？
- ・皆の健康を願って、さあ、乾杯しようね。
むるぬ けんこー にがーてい、りか、乾杯 さやー。
- ・歌・三線がはじまるよ。
うた さんしん ふぁじまいんろー。
- ・ひと言、挨拶をしてください。
とぅふとぅとぅば、あびてい みーんそーやんな。
- ・ひと言、挨拶をしたら。
とぅふとぅとぅば、あびていん みーば。



- ・ひと言、挨拶するね（しようね）。
とぅふとぅとぅば、あびていん まーやー。
とぅふとぅとぅば、あびていん まーひー。
- ・こんなにお祝いしてもらって、うれしかったですよ。
うっぺんなー すーぎ しーさーてい、にふえー ーえ
んそーいたんろー。

結納（にんごーむい） 結婚適齢期（とぅしぐる）
結婚（にーびき） 結婚式（にーびき ゆえー）
お祝い（すーぎ・ゆえー） 大きなお祝い（うふゆえー）

◆行事の際に使うことば

- ・清明祭（しーみー）
- ・ご先祖様、きょうは清明祭に子や孫がそろって来てい
ますので、見守っていてください。
うやふあーふじがなしー、すーや しーみー うさ
ぎーが くわー まが するてい とーぐとぅ、みーま
んてい とぅらしんそーいよー。
- ・さあ、皆（お墓に）手を合わせなさいよ。
とー、むる しー うさぎーよーやー。
- ・手を合わせてから、ごちそうをいただきますよ。
しー うさーていか、さんれー さびら。
※しー うさーすん = （お墓に）手を合わせる。お祈りする。





○七夕 (たなばた)

・(ご先祖様) きょうは七夕なので、墓の掃除をしますね。

すーや たなばた いえーぐとぅ、ふあかぬ そーじ
さびーんろー。

・きょうは七夕なので、墓の掃除に来てますよ。

すーや たなばた いえーぐとぅ、ふあかぬ そーじ しー
が とーんろー。

※旧暦7月7日の七夕の日には墓掃除をします。旧暦7月13日から15日の旧盆にむけて、ご先祖が気持ちよく帰ってこられますように、との気持ちが込められています。

・(ご先祖様) お盆には (家に) いらしてください。

しちぐわち しーが もーいんそーいよー。

○旧盆 (しちぐわち)

・(ご先祖様) お迎えの日ですので、見守ってください。

うんけー なとーびーぐとぅ、みーまんとーてい
とぅらしんそーいよー。

・お供え物をいただきますよ。

うさぎむん さんれー さびーんろー。

・お見送りをします。

うーくい さびーんろー。

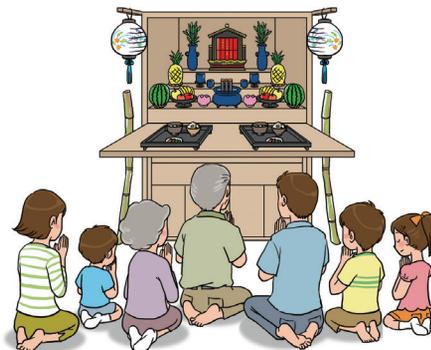
・来年もいらしてくださいね。

やーいん もーいんそーいよーや。



・(ご先祖様) お見送りをしますので、転ばないように泥棒にも合わないように、まっすぐお帰りください。

うーくい さびーぐとぅ、ふいさ まちぶらんげー
ふえーれー あーやんぎ、まっとーば けーいんそい
よー。



・どこが悪かったの？

らーぬ わっさーたんが？

・気を強くお持ちください (頑張ってくださいね)。

きーや つーく むちんそーいよー (がんばいん
そーいよー)。

○「お悔やみ」に関することば



葬式 (らふい) 喪服 (らふいぎん) 仏壇 (ぶちらん)

位牌 (いふえー) 魂分かし (まぶい わふあり)

葬儀の後の七日ごとの法事の事 (ふあちそーこー = 初七日・
しんじゅーくにち = 四十九日)

5, 拝みのときに使うしまくとぅば



火の神や屋敷拝み、トートーメーなど

◆祈願することば

- ・良い正月ですね。今年もまた、家族みな、健康にしてください。

いー そーぐわち^いえーんそーいんな。ふたびん また、やーんとう むる、けんこー しみんそーいよー。

- ・今年も見守っていてください。

ふたびん みーまんとーてい くいんそーいよー。

- 十六日祭（旧暦1月16日に行う墓参り）の際の祈願ことば

- ・きょうは十六日祭ですので、子や孫も健康に繁盛させてください。

すーや じゅーるくにちー^いえーぐとう、くわー まが けんこー しみてい なしはんじょー とうらしんそーいよー。

- 清明祭（しーみー）のとき、お墓で祈願することば

- ・ご先祖様、清明祭（のごちそう）を供えますので、子や孫を健康で繁盛させてください。

うやふあーふじがなしー、しーみー うさぎやびーぐとう、くわー まが けんこー しみてい なしはんじょー とうらしんそーいよー。



- 屋敷御願（やしきうぐわん）

- ・きょうは、屋敷御願（祈願）を捧げます。

すーや、やしきうぐわん うさぎやびーん。

いつもお守りください。

たー みーまんとーてい くいんそーいよー。

※うーとーとう = 神や祖先を拝むときに発することば。「あ、尊^{とうと}」。

※ふあーふじがなしー、うーとーとう = ご先祖様へ祈願する際のことば。ご先祖様、あ、尊^{とうと}。

※ひぬかん = 火の神：台所に祀られている。

※うぐわん ぶしく = 御願不足。神や祖先への祈願や儀式などが、十分にされていないこと。

◆まじないことば

- 魂を込める願い（まぶいぐみ）

- ・魂を落としたら魂を懐に入れて（魂は）ついてきなさい。

まぶい うとうてーば まぶやー ふとうくる いりてい うーとうーろー。

- ・魂よ魂、落ちている魂、ついてきなさい。

まぶやー まぶやー、うとうとーる まぶい、うーとうーろー。

- ・魔物に惑わされているよ。

しっきーに まやーはつとーんろー。（※シッキー = 魔物）



6, 病院での会話



◆診察のときの受け答え 1

- ・夜は眠れましたか？

ゆるや にんばいそーいていな？

⇒昨日はよく眠れたよ。

きぬーや ゆー にんばいたんろー。

⇒眠れなかったね。

にんばやたっさー。

- ・きょうは、どこも痛くないですか？

すーや、らーん やまびらんな？

⇒きょうは、どこも痛くないよ。

すーや、らーん やまんろー。

- ・どこか悪いところはありませんか？

らーがな わっさー とーま あいびーんな？

⇒きょうは、少し気分がよくないね。

すーや、いふいや あんまはっさー。

- ・お元気ですか？

がんじゅー “えーびんな？

⇒元気ですよ。 がんじゅーろー。

⇒頭が痛い。 ちぶる やむん。

⇒きょうはだるい。 すーや だるはっさー。

やまびらんな？



- ・どこか悪いのですか？

らーん わっさる あいびーんな？

⇒少し熱があるね。

いふいや にち あいっさー。

⇒風邪をひいたかも、寒いね。

ふあなしき らーはぬ、ふいーはっさー。

- ・いつもと変わった様子はないですか。

いっそーとう はわたん くとうや ねーんそーやんな。

- ・どのように痛むの？（どこが痛い？）

かーんぐとう やむんが？（らーが やむが？）

⇒そこまでは痛くないよ（そんなに痛くないよ）。

あんしがれー やまんさー（あんすつか やまんろー）。

⇒針で刺されたように痛い。

ふあいしー さすんぐとう やむん。

- ・痛いかもしれないが、一緒に頑張ろうね。

やむふあれーしが、まんなー がんばややー。

- ・どうしたの？ かーさが？

⇒何でもない（大丈夫）。

ぬーん ねーんさ。

⇒足がしびれる。

ふいさ びる くむん。

まーぬ
やまびーが？





◆診察のときの受け答え 2

- ・熱を測りますので、ベッドで休んでいてください。

にち ふあかいぐとう、ベッドに にんとーきん
そーいば (にんびんそーいば)。

- ・着ている服を着替えてください。

きとーぬ きん きげーいんそーいば。

- ・あぶないですよ、寝といてください。

わはーさぬ、にんとーきんそーいば。

※わはーさぬ=危ないですよ

- ・顔を洗ってください。

ちら あれーんそーいば。

- ・どのような食べ物が美味しいですか？(好きですか)？

かーんぐとうぬ かみむんが まーはーんそーいが？
(ましゝえーんそーいが？)

- ・食べ物は何が美味しいですか？

かみむんや ぬーが まーはーんそーいが？

- ・毎日、食事は美味しく召し上がっていますか？

めーにち、かみむんや まーく うさがとーんな？

- ・毎日の楽しみは何ですか？(何が楽しみですか？)

めーにちぬ うっさぐとうや ぬーゝえーんそーいが？
(ぬーが たぬしみゝえーんそーいが？)



- ・子や孫が来るのが楽しみだよ。

くわー まが ふういしがる うっさーんて。

- ・何をして、いつも過ごしているの？

ぬー そーてい、ふいっちー ふいーぐらーし そー
が？

- ・何か心配事はないですか？

ぬーがな しわぐとうや ねーんそーやんな？

- ・早く元気になってくださいね。

はくなー がんじゅー ないんそーいよー。

- ・歩かないと、元気になるよ。

あっかんばや、がんじゅー なややんろー。

- ・おしっこを我慢してない？

しーばい にりていや ねーんな？

- ・早くトイレ(小便)に行ってください。

はくなー しーばいし もーいば。

- ・きょうは、よくがんばりましたね。

すーや、いー きばい しんそーてーっさ。

- ・お元気でいらしてくださいね！

がんじゅーし もーいよー！

⇒はい、貴方も頑張ってくださいね。(目上に対して)

おー、なーみん きばいんそーいよー。





日常でよく使うしまくとぅば

◆食事のときに使うことば

ここに置いておこうね。

うとーかひー!

ふうまに うとーかひー。

あなたは、どれが美味しいですか? (目上の人に対して)

なーみや、ぬーが まーはーんそーいが?

君は、どれが美味しい? (同年や目下の人に対して)

うらや ぬーが まーはーんが?

食べ物は何が美味しいか?

かみむんや ぬーが まーはーが?

たくさん召し上がってくださいね (食べてね)。

かっさーん いんかぎんそーいよー (かっさーん

かめー)。

※かっさーん=たくさん。多く。

美味しいですか? (美味しい?)

まーはーんそーいんな? (まーはーんな?)

美味しかったですか? (美味しかったです?)

まーはーんそーいていな? (まーはーていな?)

召し上がりましたか?

いんかぎんそーていな?



お召し上がりください。

いんかぎーんそーいば。

何が美味しいですか? (美味しい?)

ぬーが まーはーんそーいんな? (まーはーんな?)

◆食味をあらわすことば

あふあはーん (〈味が〉うすい)

はらはーん・はらはぬ (辛い・辛くて)

ます ずーはーん・ます ずーはぬ (塩辛い・塩辛くて)

いんがはーん・いんがはぬ (苦い・苦くて)

※あんし いんがはーぬ=あんなに苦いなんて

はたぢやー (濃いお茶)

※はたはぬ=濃い しがはぬ=薄い

◆問いかげのことば

何でも聞いてください (何でも聞いてね)。

ぬー ーえーていん ききんそーいば

ぬー ーえていん きけー。

困ったことはないですか? (ないか?)

くまいぐとうや ねーんそーやんな? (ねーんな?)

どこへいらっしゃったんですか? (目上の人に対して)

らーかい もーたが?

どこへ行ったの? (同年や目下に対して)

らーがてい いらが?





- あなたはどこの出身ですか？

なーみや らーんとう いえんそーいが？ (目上に対して)

うらや らーぬ うまりが？ (同年や目下に対して)

うらや らーぬが？ (「君はどこの人？」 ※出身を聞く)

らーんとうが？ (「どこの人」 ※簡易な問いかけ)

⇒ 辺野喜出身 (生まれ) です。

うにきぬ うまり いえんろー。 (目上に対して)

うにき うまりろー。 (同年や目下に対して)

- 昔の辺野喜のことを教えてください。

むかしぬ うにきぬ くとう ならーしん

そーやんな。



- 辺野喜の言葉を教えてください。

うにきふうとうば ならーしんそーやんな。

- 趣味は何ですか？ (趣味は何？)

すーみや めー いえんそーいが？ (目上に対して)

すーみや めーが？ (同年や目下に対して)

- お疲れでしょう (疲れたよね)。

うたてい もーいんて (うたとーんて)。

- 明日も頼みますよ (頑張ってください)。

あたーん きばてーんそーいよー。 (目上に対して)

あたーん きばいよー。 (同年や目下に対して)



- お先に失礼します。(目上に対しての帰るときの挨拶)

さきに ぐりー さひー。

- 先になるよ。(同年や目下に対しての帰るときの挨拶)

さき ないんろー。

- また明日ね。(帰るときの挨拶)

また あたーやー。

- また来るよ。(帰るときの挨拶)

また ふういんろー。

- ごめんください。

へーい。

- お上がりください (入って)。

いーんそーいば (いーば)。

- 気をつけてゆっくりお帰りください。(「きよなら」の意味)

きー ちきてい よーんなー けーんそーいば。(目上に対して)

きー ちきよー。(「気をつけてね。」 ※同年や目下に対して)

- 繁は家にいる？

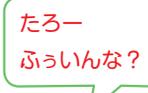
しげるー やーに ふういんな？

- 用事で来たけど、家にいる？

ゆーずし たしが、やーに ふういんな？

- 何の用事でしたか？

ぬー ゆーず いえーたがやー？



8, タクシー運転手との会話



◆辺野喜でタクシーに乗る

らーがてい
もーいが?



・タクシーは来ないね。

たくしー ふあーんばん。

・タクシーが来たよ。

たくしー たんろー。

・どちらまで行きますか? (どちらまで?)

らーがてい もーいが? (丁寧な言い方)

らーがていが?

・辺土名までだよ。

ふいんとうな がーれん。

・急いでいますか? (急いでいるの?)

あわていとーびんな? (丁寧な言い方)

あわていとーんな?

・少し急いでいるよ。

いふいや あわていとーしが。

ふいんとうな
がーれん!



・そこを左に曲がって。

ふうま ふいがいがてい まがいは。

・そこを右に曲がって。

ふうま みぎがてい まがいは。

・ここでいいよ (止まって)。

ふうまのーてい しむっさ。

・幾ら?

かっさーが?

ふうまのーてい
しむさっ!

・ちょうど千円です。

ちんとう せんえんろー。

・ありがとうございました。また乗って (利用して) くださいね。

にふえーりえーんそーいんたんろー。また ぬいん
そーいろー。

かっさーが?

ちんとう
せんえんろー。



※辺野喜では、日常的な会話では敬語を使うことが少ないとの事で、タクシーでの会話でも、敬語はあまり使わないという事です。

9, 地域の特徴



沖縄県の様子（おきな—ぬ しがた）

・沖縄県は日本でも唯一、亜熱帯地域に属し、一年を通して温暖な気候で、暮らしやすい地域である。

青く広がる海は、美しい熱帯魚やサンゴなどが多くすむ宝庫である。

そして、沖縄島のヤンバルや離島に残る森林には、日本や世界でもめずらしい動物や植物や昆虫たちが多く、また、鮮やかに咲き誇る花や緑豊かな樹木からは、力強さを感じる。



・おきな—や にっぽんの一てい さらてい—てい、亜熱帯地域に なてい、にんず—ぬくはぬ ？わ—ちきし、くらしやっさ—ぬ と—ま など—ん。

お—る—く まぎは—ぬ うみや、すらは—ぬ ゆ—や さんぐとうかが ぐんろ—ぬ ほ—こい—え—ん。

あんし、おきな—ぬ やんばるや ふあなれじまにぬふういる むいにや、にほんや せかいの一ていん

みじらは—ぬ いきむんや ひ—くさ むしんくわ—たが うふはぬ、また、すら—く さと—ぬ ふあな

とうか お—お—とう そ—ぬ ひ—か—や、ちからず—く うむいん。





●国頭村（くんじゃん）

国頭村は、沖縄島のいちばん北にある村である。

クンジャンとかヤンバルという名前で呼ばれている。

面積は約194km²である。その84パーセントを緑豊かな山々に囲まれた村である。

2021年には、ユネスコの世界自然遺産に登録された。

くんじゃんや、おきなぬ いちばん 北に あいぬ むら いえん。

くんじゃんとうか やんばるんりぬ なーし ゆばつとーん。ひるさや てーげー 194 平方キロメートル あいぬ。84 パーセントや おーおーとう そーぬ やまやまに はくまつとーぬ むら いえん。

2021 にんにや、ユネスコぬ 世界自然遺産に とうろく さつたん。



●観光案内

辺野喜のいろいろな場所を案内しましょう。

うにきぬ らーふっい うんちけー さびら。

・辺野喜川（うにきがー）

ヤンバルの西銘岳から、東シナ海に流れ込んでいる川。

辺野喜の人々の生活には、なくてはならない川である。

やんばるぬ 西銘岳かー、東シナ海に ながりとーぬ はー。うにきつとーぬ くらしにや、ねーんばや なやんぬ はー いえん。





・辺野喜ダム (うにきだむ)

1986年に完成したダムである。全国でも数少ないロックフィルとコンクリートが合わさった(形式の)ダムである。このダムの周りの山々には、ヤンバルクイナやノグチゲラなどの天然記念物が多く生息している。時折、道を横切るヤンバルクイナや、樹に棲むノグチゲラを見ることができる。

1986にんに すびなため だむ いえん。くにじゅーのーていん しかつとう いきはーぬ まぎーいしとう コンクリートが あーはつとーぬ だむ いえん。ふうぬ だむぬ まーいぬ やまやまにや、あがちとうか ふいりつかとうかぬ 天然記念物が かつさーん ふういん。まるけーていなーみち わたいぬ あがちとうか、ひーに すまとーぬ ふいりつかん みやいん。



・辺野喜節 (べぬちぶし)

「いじゅの木の花や あんきよらさ 咲きゆり わぬも いじゅやとて 真白咲かな」という歌詞で有名。

この歌の意味は、「伊集の木の花は 清く咲いている。私も伊集の花のように白く美しく咲きたい」である。

辺野喜は伊集の木が多いことから、辺野喜節の節名が付けられたとされている。辺野喜集落に入るところ、辺野喜川の下流に歌碑が建てられている。

「いじゅぬ きぬ はなや あん ちゅらさ さちゅい わにん いじゅやとうてい ましら さかな」り いーぬ うたし なー うとーん。ふうぬ うたぬ いみや、「いじゅーぬ ひーぬ ふあなや すらーく さとーん。わぬん いじゅーぬ ふあなんぐとう しるーく すらーく さきつたはーん」 いえん。

うにきや いじゅーぬ ひーぬ うふはーぐとう、びぬ ちぶしんりーぬ なーが ちきやつたんり いやつとーん。うにきに いーつとーまぬ、うにきがーぬ したむちに 歌碑が さいいやつとーん。



語って 使おう しまことば
『ふぁーてい ちかーや しまふうとうば』
うにきむにー (辺野喜ことば)

発行 日：2022 (令和 4) 年 3 月 27 日

監 修：中本 謙 (琉球大学教育学部教授)

辺野喜ことば話者：山城 榮 (辺野喜)、金城 茂 (辺野喜)
東恩納 寛 (辺野喜)、山城 光正 (辺野喜)

(音 声 話 者)：山城 榮、東恩納 寛

発 行：沖縄県文化観光スポーツ部文化振興課
〒 900-8570

沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 2 番 2 号

編集・制作：沖縄県文化協会 しまくとうば普及センター
(校閲) センター長 波照間 永吉
〒 900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 2
番 2 号文化振興課内

制作・印刷：合資会社 沖縄時事出版
代表 名幸 諄子
編集責任 呉屋 栄治
〒 900-0025 那覇市壺川 1-3-10
TEL 098-854-1622 (編集部)

原稿執筆・構成：宮城 一春

【写真提供】

「海中公園、やんばる国立公園、国頭村空撮、ヤンバルクイナ」
(沖縄観光コンベンションビューロー)